

重点目標	【地域で自立的に生きるための基礎を育成する学校】 地域連携・校種間連携	P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と園児の交流や職員間の参観交流、幼保小情報交換会を実施。 ・ 6年生が二中、南中に分かれて、訪問交流や中学校説明会を実施。 ・ ラジオ体操やPTA「歩こう会」を保護者や地域の方と一緒に実施。 ・ 保護者アンケート「学校は地域から学ぶ、地域に貢献する」肯定的評価割合93.8% 	
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流活動の充実を図り、幼稚園・保育所等から小学校への接続、小学校から中学校への接続が一層円滑になるような機会を設定する。 ・ 保護者アンケート「学校は地域から学ぶ、地域に貢献する」肯定的評価の割合90%以上を維持する。 	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新年度入学予定者のいる幼稚園・保育所と連携し、児童との交流を実施する。 ・ 6年生が進学する中学校で、進学時のイメージを確立できるように、授業を参観したり活動したりできるように働きかける。 ・ 地域で自立的に生きることについて、できることを模索し、できることから着手する。 ・ 地域学校協働活動を、「同想会」等の組織と連携して充実させる。 	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、仲よし交流会、焼きいも交流、町探検等の交流活動を計画する。 ・ 能代第二中、能代南中、それぞれの進学先の学校区で、6年生が交流できる活動を計画する。 ・ ラジオ体操やPTA「歩こう会」を、地域にも呼びかけて実施する。 ・ 教科等、各学年の地域に関わる学習が、より一層充実できるように、地域学校協働活動として実施していく。 ・ 同想会と連携した稲刈り・田植えを実施して、地域に根ざしたふるさと・キャリア教育に資する。 	

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童と園児の交流、職員同士の保育参観・授業参観を実施。また、幼保小情報交換会も有効活用できた。 ・ 今年度は、各中学校区での6年生の交流体験活動を実施することができた。ようやく、実体験できる交流が実現できた。 ・ 夏休みのラジオ体操に保護者や地域の方にも参加していただき、地域の方々と一緒に活動することができた。PTA事業「歩こう会」2回目が、地域で発生した事件のため、中止になってしまい残念であった。 ・ 地域学校協働活動推進員の尽力により、2年・3年・5年の生活科や総合的な学習の時間での地域学習を学習支援ボランティアと一緒に実施することができた。特に、あいさつで地域とつながることを意識した5年生の学習は、地域との連携を住民に意識づけることになった。 ・ 1・2年生は、市野球協会からの働きかけでKid's Baseballを、4年生は県障害者スポーツ協会からの働きかけでパラスポーツ体験を実施した。学区を超えた要請への対応も貢献の1つであると考えている。 ・ 4年生が、昨年に引き続き同想会の発案による稲刈り・田植えを行うことができた。地域を知り、地域のこれからを考える一助となった。 	D
------	---	---



自己評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケートの結果は、91.6%と目標値をやや上回った。学習や活動を通じて地域の方々とより深くつながり、児童が地域の一員であることを自覚できた点は成果であると考えている。 ・ 田植え・稲刈りを、同想会の尽力で継続実施できたことは、今後、地域学校協働活動を充実させる上で大きな一歩になったと考える。 ・ 幼・保・小の連携は、着実に成果を生み出している。中学校との連携は、よりよい体験のあり方を考えて、発展させていきたい。 	C
------	--	---

↑ 評価基準 ↓

A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない



学校関係者評価と意見	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民と一緒にラジオ体操や歩こう会、あいさつ運動などが継続されていて、学校に関わる人が増え、アンケートでの評価が十分である。 ・ 同想会と連携した活動が2年目となり、よい状況である。 ・ 民生児童委員等との連携が十分である。 	
------------	--	--



自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と関わる学習や行事は、中身を磨きながら取り組み継続していく。学区内ではない要望でも、広く「地域」ととらえて、可能な限り取り組んでいく。 ・ 幼・保・小の連携が軌道に乗ってきているので、より効果のある形を模索しながら、継続していく。 	A
-----------------------	--	---